

自学自習のヒント

～将来にわたって主体的に学び続ける力～



千里の道も一歩から

継続だけが力なり

京都市立鷹峯小学校
学力向上プロジェクト

1.はじめに

これからの社会では、自ら課題を見つけ、主体的に学び続ける力がますます重要になっていきます。子どもたちが、将来、自立して学び続けるためには、「自学自習の習慣」を身に付けることが不可欠です。本校では、教育目標『自ら感じ・考え・行動・協働し、未来を創る鷹峯の子 - 承認・自律・創造 -』のもと、日々の授業の中で子どもが学びへの意欲を高め、家庭学習につながるサイクルの確立を目指します。

本手引では、学校での主な学習内容や、自学自習の習慣を身に付けるために、大切なことなどをまとめていますので、ご家庭での支援にお役立てください。

<ノート例>

日付を書きます。

ナンバーを書きます。

国の収入落ちこむ
 国の収入が予想よりも落ちこんでいます。お金の不足を克服するため、政府は1万円を超える赤字国債(国債発行ワード)の発行を検討しています。年度途中で赤字国債を追加して発行するのは7年ぶりのことです。
 収入が落ち込んだ原因の一つは、円の高騰がほかの国の通貨よりも高くなる円高が原因だということです。円高になると、日本から輸出する製品が安くなって売りにくくなります。すると、会社の売上げが減り、倒産する会社も少なくなってしまうというわけです。
 国の財政はきびしく、赤字は1000億円を超えています。赤字国債を発行することで、さらに借金は増えます。借金を返済するのは、多くの子どもたちなので、財政の立て直しが必要なのです。

11 (日) 57
 国の借金があるということと1000兆を超えているということにおどろきました。日本が、輸出した物を他の国とくらべて、高値で売っていると

いうことなので、もう少し安くして、借金を返して、オリンピックのために良い日本にしてほしいです。

<ふり返し>
 新聞をよまないと分からないことかたくさんある。たのびました。切りぬきをしようと思ってる。
 my god! 11/15

よたたん ましたでん
 新聞記事を読んで、おどろいたことや考えたことを書いています。さらにふりかえりで次への意欲を高めています。ナイス!ですね。

最後には、ふりかえりを書きます。

12/20 → 漢字プリント③ 意味調べ

救済 = 困っている人を救うこと。 (漢字) 漢字の意味を調べる

<そう>
 浴 = 長いものからあまりはなれないで続く。
 添 = ①そばにいろ。②付き添う。容姿。③望みや目立てとだいたい同じに合わせる。

<例> 病院につき添う。行く道を浴、て歩く。

「気をつける部分」

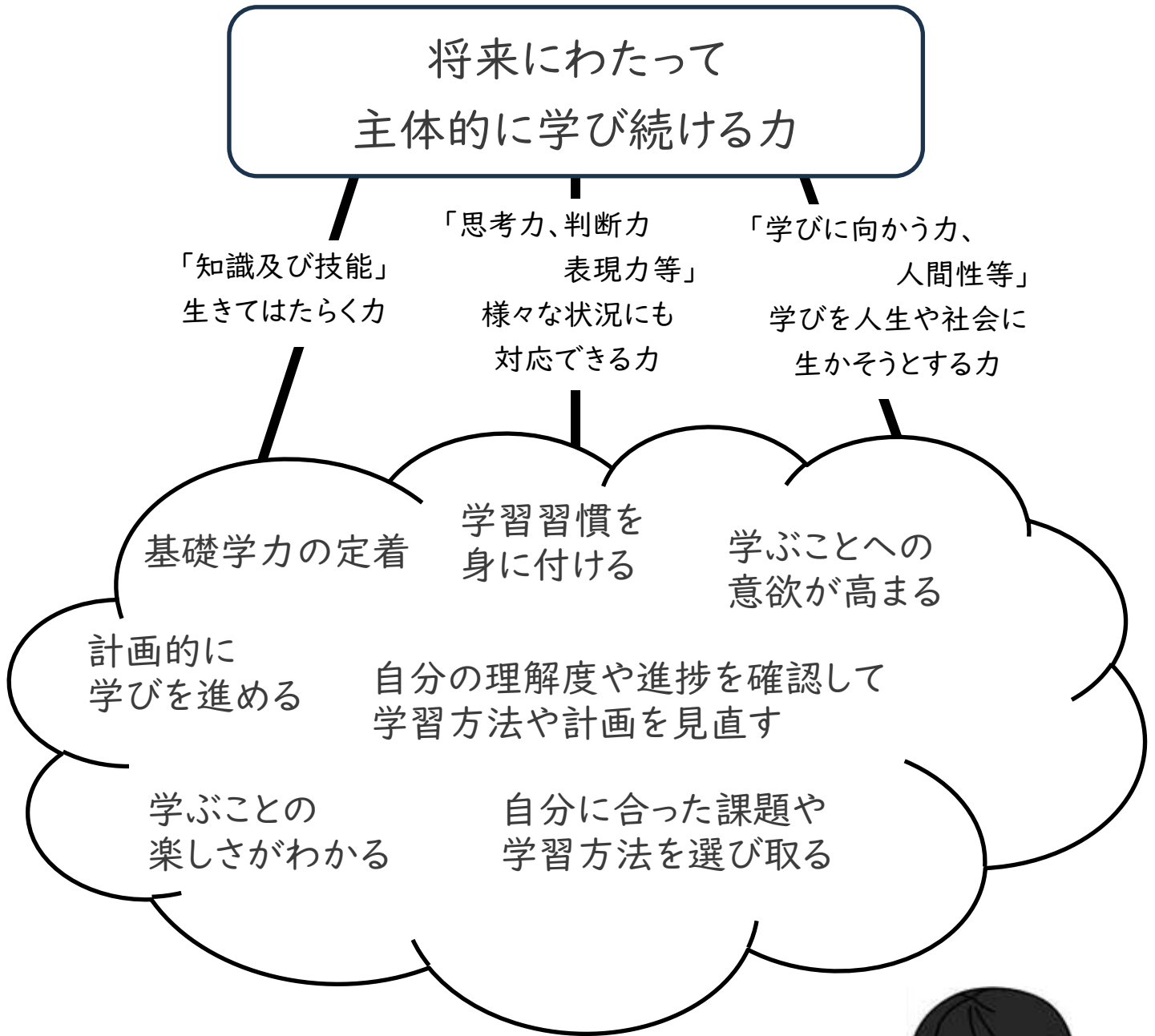
幼	賃	蒸
幼: ①あそび。②あそび。③あそび。④あそび。⑤あそび。⑥あそび。⑦あそび。⑧あそび。⑨あそび。⑩あそび。	賃: ①かたはら。②かたはら。③かたはら。④かたはら。⑤かたはら。⑥かたはら。⑦かたはら。⑧かたはら。⑨かたはら。⑩かたはら。	蒸: 水。水が蒸発する。と覚える。①かたはら。②かたはら。③かたはら。④かたはら。⑤かたはら。⑥かたはら。⑦かたはら。⑧かたはら。⑨かたはら。⑩かたはら。

<ふり返し>
 あじえやすいわ! 12/20
 「蒸」のように何かの形にたとえて覚える方法も使っていたらいいと思う。
 「浴」は、「添」と「浴」の両方の意味だと思っていたけど、ちがっておどろいた。

ただ漢字の意味を調べるだけでなく、「気をつける部分」を書き出す。「何かにたとえて覚える」という独自のアイデアを生み出すなど、楽しくステップアップ学習ができていてナイス!ですね。



2. 自学自習を通して目指す学びの姿



3. 本校における自学自習についての方針

自学自習で大切にしたいこと

- 自分が興味・関心のある物事について、調べてみましょう。探究的な学びに取り組みましょう。
- 自分で学習の計画を立て、主体的に学びを進めましょう。
- スマートフォン・ゲーム等の使用時間に注意しましょう。
- 読書を通して、新しい知識、いろいろな感じ方、ものの見方、考え方に触れ、豊かな人間性を育てましょう。

保護者の皆様へ

お子様の自学自習を支えるうえで、以下のようなことも大切にしてください。

- ご家庭で、「今日の授業の中でおもしろかったって思ったことはあった?」「学校の授業で学べたことを教えて?」といった声かけをしていただき、子どもが学んだことをアウトプットすることを大切にしてください。
- 学習に集中できる環境づくりを心がけてください。

自学自習は、先生から与えられた課題とは別に、自分の興味関心をもとにして子ども自らがすすんで学習する習慣を身に付けることをねらっています。

しかし、何をしたらいいのか分からずに困っているという声もありましたので、鷹峯小学校では、自学自習のヒントになればと思い、このリーフレットを作成しました。参考にしていただければと思います。お子様と一緒にご覧になり、声かけをしていただけると大変ありがたいです。

4. 学年ごとの目標や学習内容など

小学校1～2年生



学習内容の特色

- 「鉛筆を正しくもつ」「明日の学習準備をする」「整理整頓をする」といった、基本的な学習習慣を確立しましょう。
- 「読み、書き、計算」など、基礎的・基本的な学習が始まります。
- 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりします。
- GIGA 端末を使いはじめ、絵や文字をかいたり、簡単な入力を行ったりします。



自学自習のポイント!

- ① やると決めたことを最後まで
短い時間でも「ここまでやる!」と自分で決めたことをやりとげる経験が、学習の力につながります。
終わったかどうかを家族でいっしょに確認して、学習のけじめをつけましょう。
- ② 家族と一緒に取りくむ
学習の内容や進め方を、自分ひとりで考えるのはまだむずかしい時期です。
家族がそばで見守りながら、“一緒に学ぶ時間”をつくってあげましょう。
スマートフォン・テレビを切るなど、静かで集中できる環境づくりや、「読書タイム」を家族で楽しむことも効果的です。
- ③ 「できたね!」の声かけがやる気を育てる
今日の学びを家の人に話すことで、子どもは自分のがんばりを実感できます。
そのがんばりを家族がしっかりほめることで、次の学習への意欲がぐんぐん高まります。
- ④ 生活リズムが学びを支える
早寝・早起き・朝ごはんは、集中力ややる気を引き出す大事な習慣です。
毎日の生活リズムを整えることが、学びの土台になります。

小学校3～4年生



学習内容の特色

- 「総合的な学習の時間」や「社会科」「理科」の学習が始まり、学習範囲も大きく広がります。
- 資料集や地図帳、辞典などを使い、調べ学習をすることが多くなります。
- 新しい漢字を、たくさん習います。(3・4年生とも200字ずつ)
- 算数科では分数や小数など、少しずつ抽象的な内容を学び始めます。
- 四則計算(+、-、×、÷)の基礎・基本を、徹底して学びます。
- GIGA 端末で文字入力や写真の編集等を行います。



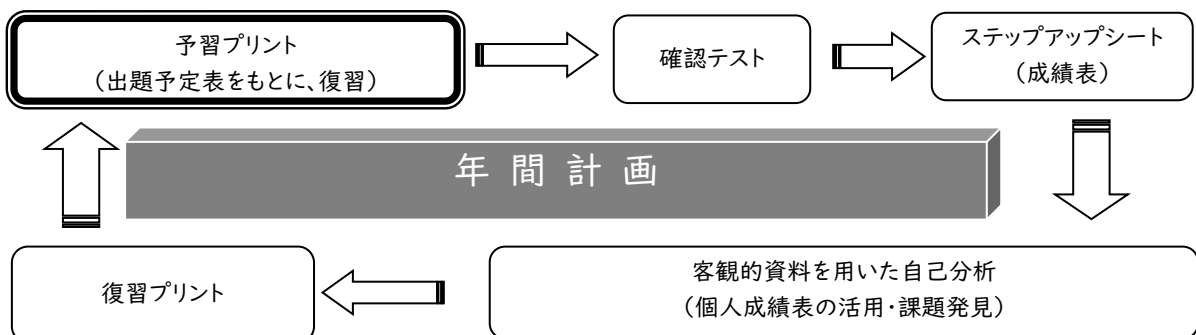
自学自習のポイント!

- ① 自分が関心のある物事を調べたり、考えたりしてみましょう!
予習や復習だけでなく、自分が関心のあることを調べたり考えたりしてみる等、自主的な学習にも積極的に取り組み、家庭学習のレベルアップを図っていくと良いでしょう。身のまわりの自然や社会の出来事にも関心が持てるように働きかけましょう。(京都市青少年科学センター、博物館、美術館に出かける等)
- ② ほかに子どもと比べず、「がんばり」をほめる!
学習に少しずつ個人差が出てくる頃です。友だちや兄弟・姉妹と成長を比べることは避けて、「がんばり」を見逃さずに、積極的にほめましょう。

<「ジョイントプログラム」でステップアップ!>

- 小学校4年生から、「ジョイントプログラム(京都市小中一貫学習支援プログラム)」が始まります。出題予定表をもとに、学習計画を立て、復習し、確認テストで学習成果をチェックしましょう。指摘された学習のポイントは繰り返し復習しましょう。

《実施サイクル》



小学校5～6年生



学習内容の特色

- 筋道立てて考える論理的な内容の学習や抽象的な内容の学習が増えます。
- 自分で課題を見つけ、解決していく学習（問題解決的な学習）をさらに深めていきます。
- 自ら学ぶことの面白さや楽しさを経験させ「学び方」や「ものの考え方」を育てます。
- 学習内容が多くなり、社会や世界に目を向けた学習もします。
- 授業支援ソフト等である程度の速さで文字入力したり、自分でファイルを使って共同作業をしたり、オンラインによるコミュニケーション活動に参加したりするようになります。



自学自習のポイント!

① 予定を立て、計画的な学習を!

1週間の予定表を見て、家庭学習の計画を立てましょう。予習・復習を大切にし、1日の予定を立て、見通しをもって学習しましょう。必ず学習する時間帯の設定をしましょう。

② 「急がば回れ」の気持ちで!

問題に取り組んでいて分からないことがあれば先生に相談しましょう。

<春休み>

- 「早寝早起き、夜更かしをしない」等、中学校での生活に向けて、今一度、生活習慣を見直しましょう。
- ジョイプロ5回目に向けて、「復習プリント」を活用して、小学校6年間の学びを総復習しましょう。

～中学校に向けて～

中学校では、各教科でより専門的な内容を学んでいきます。内容が難しくなり、量が増えていきます。自身で計画を立て、学習方法や内容を工夫し、何をするか自分で考え、実行できるように、準備をしましょう。

中学校1～2年生



学習内容の特色

中学校では、各教科でより専門的な内容を学んでいきます。内容が難しくなり、量が増えていきます。小学校で身に付けた自学自習のポイントに加えて、自分自身で計画を立て、学習方法や内容を工夫し、何をするか自分で考え、実行できる力が求められます。また、自分が関心のあることをさらに探究し、学びを深めていきましょう。

自分で設定した学習を、いつどのように取り組むのが肝心です。自分に必要な学習に気づき、自分で計画的に行う学習は、誰かに指示されてする学習より、何倍も効果があります！



自学自習のポイント！

① なりたい自分になるための進路について考えよう！

テストや学習確認プログラムの結果を自分で分析して、自分の弱みや強みなど、自分の状況を把握し、今やるべき学習（課題やテスト勉強等）の計画を立てましょう。興味・関心のある学習（探究的な学び）に取り組む時間を設定しましょう。

② 予習で工夫を！復習に重点を！

教科書は、授業の前日に読んでおきましょう。どのような学習をするのかを知っておくと、授業に臨む姿勢も自ずと変わるはずです。また、あらかじめ自分で調べたり考えたりして、授業に臨めば、学習内容の理解がさらに深まります。

その日のうちに、教科書やノート、プリントを使って、学習のポイントを整理しましょう。授業支援ソフトやデジタルドリルを活用すると、効果的に学習を進めたり、学習の足跡を残したりすることができます。

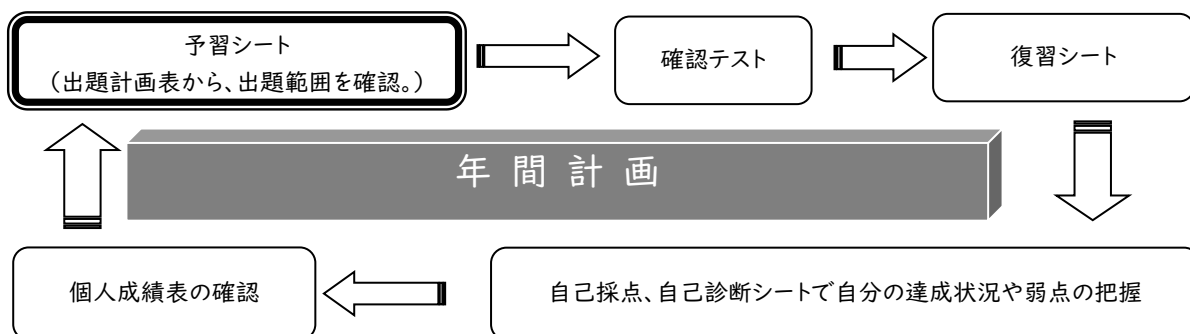
③ ノートの有効利用を！

自分の学びを深めるために、ノートづくりを工夫しましょう。例えば、復習や見直しのために、学校での学習は左ページに、自分でまとめたり付け加えたものは右ページに書くなどの工夫があれば、あとから振り返ることができます。

<「学習確認プログラム」でステップアップ!>

- 中学校1年生から、「学習確認プログラム(京都市小中一貫学習支援プログラム)」となります。学習計画に沿って復習し、確認テストで学習成果をチェックしましょう。指摘された学習のポイントは繰り返し勉強しましょう。

《実施サイクル》 学習確認プログラム



中学校3年生



学習内容の特色

- 3年生の授業の予習・復習と1・2年生の内容の復習の両方を進めていくことが大切です。
- 授業支援ソフトやデジタルドリル等には、これまでの学習の足跡が残っています。自分の得意・不得意を把握して復習をするときに活用しましょう。



自学自習のポイント!

- 興味・関心のある学習(探究的な学び)に取り組む時間を設定しましょう。
- 学習確認プログラムの3年間の「復習シート」を活用して、中学校の総復習をしましょう。

<卒業後をイメージして、スケジュール管理を!>

- 進路相談で話したことをもとに、受験日から逆算して、復習に重点を置く期間、進路対策に重点をおく期間などを、大まかに設定しましょう。将来にわたって、スケジュール管理ができるようになっておくといいですね。

- テストや学習確認プログラムなど、いつ、何があるのかをカレンダーに書き込んでおきましょう。
- テスト勉強や進路対策の勉強を、いつどのようにするのか計画を立て、自分でスケジュールを管理しましょう。
- 自分で主体的に学習することが、進路や卒業後の姿を変えていきます。

<夏休み>

- 1・2年生までの総復習を、集中して行う絶好の機会です。自分で学習計画を立てて復習等に取り組みましょう。与えられた課題だけでなく、自分にとって必要な学習を進めましょう。
- 夏休みの時間を有効に使って、気持ちを切り替えて計画的な勉強に一層力を入れましょう。
- 規則正しい生活リズムが、学習効果を生みます。十分な睡眠・バランスの良い食事・適度な運動を取入れ体調管理に努めましょう。

<冬休み>

- 進路希望が明確になります。これまで学んだ内容の総復習をしましょう。出題傾向を調べたり、対策問題などにも挑戦しましょう。
- 高等学校、将来に向けて
高校では、将来の進路選択に向け、長期的な学習計画を立てて、取り組むことが求められます。また将来、社会や仕事では、未知の課題に対応するために、既存の知識を柔軟に応用する力が不可欠です。小学校と中学校で学んだことを使って、より発展的に考える力が重要となります。